

2013年5月13日
住友化学株式会社

水稲用除草剤プロピリスルフロンの韓国における販売開始について

住友化学は、このたび、子会社「住友化学アグロソウル社」を通じて、水稲用除草剤プロピリスルフロン（一般名）の販売を韓国で開始いたしました。

プロピリスルフロンは、住友化学が独自に開発した有効成分で、ノビエをはじめ、クログワイ、オモダカ等の難防除雑草を含めた幅広い雑草に高い効果を発揮することから、主に、一回の散布で効果的な防除ができる初・中期一発処理除草剤※1 に使われています。また、フロアブル剤※2 やジャンボ剤※3 といった散布作業を省力化できる形状の製剤にも使用することができます。

住友化学は、2011年に、日本において、プロピリスルフロンを含有する初・中期一発処理除草剤「ゼータワン®」および「メガゼータ®」を発売し、順調に販売数量を拡大しており、また、2013年には「ゼータファイヤ®」および「ブルゼータ®」を新たに投入し、製品ラインナップをさらに充実させています。今回、韓国において、プロピリスルフロンを、初・中期一発処理剤向けに販売を開始するほか、現在、ベトナムなど数カ国で登録申請を行っており、今後、順次、販売地域を拡大することで、水稲用除草剤のアジア市場への事業展開を積極的に進めてまいります。

以 上

※1 初・中期一発処理除草剤：

生育初期から中期にかけての幅広い雑草に有効な除草剤。従来は、雑草の生育状況に合わせて2～3回散布が必要だったのに対し、1回（一発）の散布で防除が可能。

※2 フロアブル剤：

水に溶けにくい有効成分を微粒子化し、分散剤などを加え水に懸濁させた製剤。散布機器を使用することなく、容器から直接水田へ振り入れることができる。

※3 ジャンボ剤：

有効成分をタブレット状に成型し、水中への溶解・分散性を高め、水田に投げ入れるだけで有効成分が拡散する製剤。

【ご参考】 「住友化学アグロソウル社」の概要

社名 : Sumitomo Chemical Agro Seoul, Ltd.
所在地 : 大韓民国 ソウル
設立 : 2004年6月
社長 : 笹山 保
資本金 : 9億ウォン（住友化学100%）